

原保育園及び中央保育園の再構築に係る

市民の皆様からいただいた主な質問・意見と教育委員会の考え方

質問・意見	教育委員会の考え方
<p>1 芦原保育園・中央保育園以外の保育園の検討は行ったのですか？</p>	<p>芦原保育園と中央保育園は老朽化が著しく、防災上懸念される立地条件にあります。また両保育園とも園児の送迎等の駐車場も手狭であり、このような現状の中で、子どもたちの「安全・安心の確保」は何にもまして優先されなければなりません。保育環境の整備充実を求めた平成19年の小諸市保育所のあり方検討懇話会の「提言」から10年が経過していますが、国の認定こども園の推進や子ども・子育て支援制度の新設といった新たな展開もあり「提言」の具体化が進んでいませんでした。そのため「小諸市公立保育園の整備充実に関する検討会」では、芦原保育園と中央保育園の早急な対応が緊急かつ重要ということで、優先して検討を進めてきました。他の園の方向性については、今後の児童数の動向や私立保育園、幼稚園も含めた配置のバランスを考慮しながら、地域に求められる公立保育園の役割を果たせるよう、慎重に考えていく必要があると思います。</p>
<p>2 統合して建設する保育園の定員規模はどのくらいになりますか？</p>	<p>「小諸市保育所のあり方検討懇話会の提言」では、集団行動による児童の育成や効率的な園の運営を勘案すると、園の定員は90人程度が理想であるとしています。現時点では、芦原保育園と中央保育園の現在の園児数を合わせた、120名の規模を想定しています。</p>
<p>3 南城公園 50mプール以外の場所は検討したのですか？</p>	<p>教育委員会事務局では、交通の利便性が良く、2園に地域的にも近い市街地とその周辺で、必要な面積が確保できそうな場所を、私有地も含め13箇所確認してきました。その中で最終的に2か所の候補地に絞って検討会へ提示した結果、南城公園 50mプールの場所が、冒険の森に隣接する自然環境に恵まれた所で、送迎のための交通アクセスもよく、十分な敷地と駐車場の確保ができ、マレットゴルフコースの利用者との世代交流が期待できるなど、様々なメリットがあるため、移転建替の適地であるとの検討会の意見としてまとめたものです。</p>

質問・意見	教育委員会の考え方
4 南城公園の芝生広場や第一駐車場へ建てることはできないのでしょうか？	南城公園の芝生広場は、大型の複合遊具や四阿、ベンチなど設置され、子どもの遊び場として、また大人も読書など憩うことができる広大な敷地になっていて、毎日多くの方が訪れています。隣接する多目的施設では、ミニバスケット、フットサル、スケートボードなど中、高生の若い世代もたくさん集まり利用していて、小諸市の中核的な公園として無くてはならない場所となっています。また、芝生広場には、一年を通じて、校外や園外活動、各種イベント等、団体での利用も多く、150台を収容する第一駐車場は、球場やプールの来場者も含め芝生広場へ隣接して確保しなければならないスペースです。よって、芝生広場や第一駐車場への保育園建設は、困難であると考えます。
5 南城公園 50mプールへ向かう道路は坂道で冬季は危険ではないでしょうか？	小原から総合体育館へ向かう市道は、幅員のある道路で、南城公園 50mプールの入り口手前から総合体育館に向かって長く傾斜が続きます。冬季の積雪時は、交通の支障が懸念されるので、除雪等十分な対応が必要になると考えます。
6 南城公園は、昔、発電所の調整池があった場所で戦前に決壊事故があった歴史がありますが、50mプールの場所は崩れる心配はないのでしょうか？	南城公園は、昭和3年当時にダムが決壊し廃止された、小諸発電所第一調整池のあった跡地である記録があります。第一調整池は現在の流水プールを含む周辺で、ダムはプール管理棟の辺りに位置していたようです。50mプールはその調整池跡の左岸上に位置しています。昭和61年に竣工した50mプールは、建設当時に基礎調査を行い、その場所の地盤の状況を確認して建設しています。保育園建設にあたっては、周辺も含め現地の調査、検証を行うことが必要と考えます。
7 園児が減少すると見込まれる千曲保育園や西保育園の今後の検討は行うのですか？	今回の検討は、老朽化が著しく進行し、防災上懸念される立地条件にある2園について緊急の課題として進めてきました。千曲保育園や西保育園については園児数が少なくなっているという課題がありますので、芦原保育園と中央保育園の再構築したあと、どこの地域から入園してくるのかといった保護者の動線や、園児数のバランスを見ていくことがまず必要と考えます。

質問・意見	教育委員会の考え方
8 保育園の建設はいつ頃になりますか？	<p>検討会の報告内容で市民の皆様にご合意いただいた場合、その後、現地の測量、地盤調査といった基礎調査を経て施設整備計画を立てます。次に法的な手続きや設計等に入りますが、それには必要な期間が求められます。建設の時期は、今の時点で明確には定まりませんが、老朽化している園舎や防災上危険な区域にある現状を、できるだけ早く解消していきたいと思います。</p>
9 今後も市民への丁寧な説明を行い進めてもらいたいです。	<p>「小諸市公立保育園の整備充実に関する検討会」は公立保育園の保護者代表と市内保育園、幼稚園の代表、区長会代表、民生児童委員、子どもセンター館長、小学校長、また市民公募による方を含めて11名の委員で構成しています。各委員の皆様は、所属する機関、組織、また関係する方々から意見を聴いて、それを基に検討を進め報告書をまとめてまいりました。報告書が教育委員会へ提出されてから、これまでの間、芦原保育園と中央保育園の保護者の皆様、市議会議員の皆様、関係する方々へ報告書の説明を行い、今回市民全体へ向けて説明会を開催したところです。今後もなるべく多くの皆様へ丁寧な説明をさせていただきたいと思います。</p>